

平成 19 年 10 月 1 日

「ゆうちょ銀行」の発足に当たって

社団法人 全国地方銀行協会  
会 長 小 川 是

本日、ゆうちょ銀行が発足し、郵政民営化の移行期間がスタートした。

今後は、完全民営化に向けた移行プロセスのなかで、ゆうちょ銀行が円滑に民間市場に融合されていくことが重要である。そのためには、まずもって巨大な規模を、民間銀行として健全経営を確保しうる規模まで縮小することが不可欠である。

また、政府の出資関係が残るなど他の金融機関との公正な競争条件が確保されないままで業務拡大を目指すことになれば、他の金融機関との軋轢が強まる懸念がある。

こうした観点から、ゆうちょ銀行の今後のビジネスモデルの方向性としては、リテール運用の拡大ではなく、国際分散投資を含む多様な市場性商品への効率的な資金運用に特化した、いわば「機関投資家型」の金融機関を目指すことが最も現実的な選択肢であると考えます。このような点を含め、郵政民営化委員会の今後の適切な舵取りを強く望みたい。

なお、ゆうちょ銀行は今後、一民間金融機関として、利用者の信頼の維持・向上をはかるために、業務遂行態勢や内部管理態勢の整備に向け全力を挙げた取組みが求められる。金融庁におかれては、他の金融機関と同様の厳正な監督・検査を通じ、ゆうちょ銀行の内部態勢の検証・整備には万全を期していただくようお願いしたい。

以 上